

検証 55歳からの性

まだ遅くはない！ 婚活成功術

婚活の終盤で、お金も原因で破談という話をよく耳にする。とりわけ中高年男士の再婚となると養育費の問題もあるため、事前によく話し合っておきたい。

「再婚する際に前妻に養育費を払っていることを新妻に承諾してもらっていたはずなんです。彼女との間に子供が生まれてからというもの、なにかと皮肉をいわれるようになりましてね」

弱り果てた顔の齊藤正さん(51)は、前妻と別れたときの協議で毎月6万円の養育費を払う取り決めになったという。しかし、それは最低限の範囲、いわば義務的なもので、再婚前には子供の

誕生日やクリスマスには贈り物をしてきた。しかし、今は養育費だけにとどまっているという。

「小学校入学のときにお祝いをしたかったのですが、それを察した妻が、やりくりが大変で子供の七五三の晴れ着も用意できないと愚痴ったんです」と、齊藤さんは寂しげに語る。



「トラブルを回避するために細々としたことを結婚前に話し合っておくべきでしょう」と、ファイナンシャルプランナーの勝(すく)れ桂子氏。顔写真はアトバイスする。

養育費も含めた金融計画を

実は、齊藤さんには大きな誤算があった。婚活を始めたのは前妻に再婚の噂があったからだ。前妻が新しい家庭を築けば、将来的に養育費

は不要になると思い込んでいたのだ。しかし、そううまく話にはならなかった。

「前妻が再婚で経済的に恵まれれば、調停により減額が認められるケースもあります。が、前妻が再婚したとしても子供への扶養義務はなくなり

ません」(勝氏)

相手も、もらえるものはもらおうという姿勢で出てくるのが一般的だろう。今後楽々家庭と前の家族、双方をこまめに扶養したいのか、よく考えて相手にも話しておくことが重要だ。



「万が一、夫が亡くなった場合、前妻との子供と新妻で相続を協議することになります。そうしたことを見越して、一度、前妻とのマナープランが成婚を引き寄せる

子供に会ってもらうなどしておくと情も移るのでトラブルになりにくいでしょう」(勝氏)

また、養育費を含めたライフプランを話し合うことが成婚を果たす最後のひと押しになることもある。

「離婚して困窮している女性性は多く、お金にシビアになっています。ひとり親家庭の手当てなど、再婚するとなると部分も多いので、仮に前夫からの養育費がなくなっても暮らしていけるライフプランを話すといいでしょう」(勝氏)

齊藤さんのケースにもあるように、子連れの女性との再婚では、妻の前夫からの養育費を継続的に支払ってもらえるケースもある。こうしたことも視野に入れて2人でじっくりマナープランをたてるのもひとつの方法だ。(葛西由恵)

テリー伊藤のコラム 狸の皮算用

代ゼミの青春

私の中学、高校時代の同級生に飯野という男がいて、一浪して代々木ゼミナールで受験勉強をしていた。その彼が



飯野は傷心の中、なんとか第2志望校ではあったけど、明治学院大学に合格した。この飯野は数年前、病気で亡くなっている。

3大予備校の1つと呼ばれた代々木ゼミナールが校舎の7割を閉鎖し、大幅な人

員削減をして、全国模擬試験も廃止するという。このニュースを聞いて、真っ先に思い浮かべたのが、同級生の飯野の失恋だった。

現役入学の私は、代ゼミのお世話にはならなかった。日本の大学はいったん入学する

と抱負する4年間を送る人も多く、私もどちらかというとそのクチだ。そんな私が言うのもヘンだけど、切ない失恋や悶々(もんもん)とした青春の日々を送ったという経験は、意外にその後の人生に役に立つんじゃないか。

分析される。そのとおりなんだろう。しかし、少子化に伴う受験人口の減少なんて、30年以上前からわかっていたはず。代ゼミは、その対応がほかの予備校に比べて遅れていたということだ。また、パソコンが普及して20年近くになるのに、ネットを使った授

思い出出した浪人・同級生の悶々とした失恋

飯野もその後、よく「青春業など新しい形の対心もでき

【杉村えみ】(すきむら・えみ)日本プロ麻雀協会所属。A型。静岡県出身。

身近な病

先日、知人のコンサルタント会社社長から、堤防釣りで毒魚に手指を刺されたとの話を聞いた。刺された直後から患部が腫れて、手首からひじ、上腕へとシビレからの猛烈な痛みが徐々に拡大して「これはヤバい？」と思いつて救急車を要請したという。

司法書士 阿 世